



広報 ロザリオ

第134号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

巻頭写真「聖家族作業所 忘年会」	1	各種表彰者	8
年頭所感	2	寄付者御芳名	9
「障害者週間行事2014」	3	新任者紹介	10
創立記念日行事	3	フォトギャラリー	10
連載 私の新人時代②「海上寮時代を振り返って」	5	行事予定	12
折戸ハウスⅠ・Ⅱを開設して	6	みんなの家 バレンタインのお知らせ	12
「ちば醤油工場跡地でクリスマスフェアを開催!」	6	ボランティア募集のお知らせ	12
ご寄付に感謝	7	職員募集のお知らせ	12
共同募金会寄付	7		

年頭所感

理事長 桑島克子

明けまして

おめでとうございます。

今年には第五次千葉県障害者計画の策定の年にあたります。

昨年、日本政府は障害者権利条約に批准しました。この条約の理念では、障害者を保護の対象から権利の主体として捉える価値観の転換が重要です。この理念に基づき8つの主要施策と39の基本施策が構成されました。このうち、入所施設から地域生活への移行の推進では具体的に数値目標と期限を定めています。この結果がお仕着せでなく当然の権利と当事者が喜ぶ道であるよう努力しなければなりません。

私の職場（2012年3月末日は重症心身障害児・者施設）では入所期間20～25年の40～50歳台の利用者がグループホームに移行して本当により幸せなのか確信は持てません。コミュニケーションは慣れた職員が表情から汲み取り体調不良も訴えず、食事も特殊形態のものを各自に合わせた摂食の方法をとっています。

医療スタッフは24時間常駐が必要で、何も訴えることが出来ない

ので環境の変化には敏感です。通所では問題ないのに、短期入所で数日利用される超・準重症児・者は家族と異なる看護や環境に敏感で不適応症状を呈することも度々です。施設に長期間入所経験のないこれからの重症児・者は新しい制度に馴染めるかと期待しています。医療スタッフが常時必要であることは同じです。

制度が変わったとしても法が一律に適応するには解決すべき事が多い現状です。

周知のように社会福祉法人に対する批判はここ数年、福祉関係の新聞や書物に載らないことはありません。1995年、社会保障制度審議会の勧告「社会保障体制の再構築」、1998年から社会福祉基礎構造改革で「社会福祉法人の企業化」が求められ「社会福祉法人会計新基準の制定について」の通知で2014年度適用となりました。

戦後の復興に貢献した団塊の世代が主役の舞台を降りる時、少子化の波を被り社会保障費の財源が逼迫し対応に迫られています。

有効な政策を採らなかつた政府と私たち国民に責があります。

現在も集団的自衛権容認、秘密保護法制定、憲法改正など、後の世代に影響大である状況にも拘らず、国民一人ひとりが自覚して選択しているとは考えられません。私たち福祉事業に携わる人間は、世の中一般に関心を持ち、障害者権利条約に批准した後は、この法を遵守する社会を守り発展させる義務があります。

2014年を振り返った時、前年と同様に気候変動の影響を強く感じます。タイの洪水、日本ではゲリラ豪雨、休火山の火砕流、東京、埼玉、山梨の積雪、初冬の吹雪や大雪など。これらの事は地球温暖化と関連しています。子孫に大切な地球を渡すため、個人レベルでの努力は無効なのでしょうか。ノーベル物理賞受賞の三人の学者、オリンピックで受賞した葛西選手、浅田選手、羽生選手等は精進を重ねた当然の結果だと頭が下がります。ひきかえ、STAP細

胞騒ぎ、聾と偽った作曲家、広島

の土石流による家屋崩壊も本当に大丈夫と信じていたのでしょうか。マララさんのノーベル平和賞は自分の考えを短い言葉で的確に世界に伝え衝撃的でした。

正直という意味では法人の利用者の方々も劣らず正直です。対応していると自分も少し誠実に近づけたかと感じる時があります。

日々の支援は現場の職員の協働で行われています。時に時間に追われ自分でも納得しがたい対応しか取れないで疲れが倍増した様に感じることもあります。重なる、自分に向いてないかと後ろ向きになってしまいます。上司や仲間と相談して気分転換を図ってください。法人の相談室には専門医師・心理カウンセラーがいます。気軽に相談して下さい。

また、パワハラ・セクハラ等についても相談窓口を新年度迄に用意したいと考えています。利用者の日常が楽しい時間であるためには直接処遇に当たる方々が楽しくなければ不可能です。

今年も温かい気持ちを利用者の皆さんから沢山貰ってください。

「障害者週間行事2014」

旭市基幹相談支援センター・障害者虐待防止センター海匝ネットワーク 所長 吉野智

本年の障害者週間行事は、去る12月6日に千葉県立東総文化会館にて行われました。本年は、「障害のある方の権利擁護と虐待防止」をテーマとして、基調講演は弁護士であり全国権利擁護支援ネットワーク代表である佐藤彰一先生にご登壇いただき、主に昨年12月に起きた袖ヶ浦福祉センターにおける虐待死亡事件について、



第三者検証委員会座長のお立場で事件発生の経緯、検証および対応策の検討そして取り組みに係るお話しをしていただきました。事件の陰湿さはもちろんですが、虐待が常態化していたことに驚きと悲しさを強く感じました。しかし、これが職員個人の問題にとどまらず、施設組織の構造的な問題として検証されたことが重要でした。平成24年に障害者虐待防止法も施行となり、法律や制度など障害の

ある方の権利擁護の仕組みは10年前に比べれば格段に整備をされてきています。しかし、それらがまったく機能していなかったという実態は、最後は人なのだという当たり前の現実を改めて思い知らされたと言えるのではないのでしょうか。

後半のシンポジウムでは、NPO法人あおぞら理事長であり千葉県自閉症協会会長である大屋滋先生と、弁護士であり千葉県社会福祉事業団理事である佐久間水月先生にシンポジストとしてご登壇いただき、それぞれのお立場で障害のある方の権利擁護についてご発言いただきました。大屋先生は自閉症のある子どもを持つ親の立場として、その心情に係る部分も含めて想いをお話しいただきました。佐久間先生は弁護士活動を通して障害のある方の権利擁護につ

いて、そもそも障害のある人もない人も同じ想いを持っているというお話しをいただきました。

基調講演からシンポジウムと時間がタイトであったため、それぞれ十分にお話しをしていただく時間を確保できずに申し訳なかったのですが、会場の皆さんと改めて障害のある方の権利擁護と虐待防止について考える機会となったと思っております。私たちが生活しているこの地域でも、障害のある方が生活をされています。講師の先生からのそれぞれのメッセージを真摯に受け止め、身近な生活の場で障害のある方の権利について考え、実践に繋げていくきっかけとなれば幸いです。本当にありがとうございました。



創立記念日行事

法人本部事務局

秋晴れのさわやかな気候の中、10月8日（水）13時から本会の小原ケイ記念聖堂に於いて、創立記念日行事が執り行われました。

第1部は、職員の多年にわたる功績を称えて永年勤続表彰が行われました。本年度の受賞者は、勤続30年が2名、20年が10名、10年が7名の合計19名でした。表彰式では本会桑島理事長からの祝辞に続き、受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後受賞者代表からの謝辞が述べられ、式は終了しました。

第2部は、元千葉大学教授の里野泰昭先生による「神は愛である」と題した講演会でした。里野先生は東京大学工学部を卒業後、上智大学ラテン哲学科に入学し、ドイツのボン大学カトリック神学部に留学。同学部卒業後、ミュンスター大学、テュービンゲン大学、レーゲンスブルグ大学の博士課程において、ラツィンガー教授（前ローマ教皇・法王ベネディクト16世）から直接に指導を受け、帰国後、千葉大学で助教授、教授

を務め、千葉大学定年退官後は、仙台北百合女子大学教授を務めた経歴の方です。

ご講演の骨子を以下に紹介致します。

『キリスト教の根本的な教理の一つである「神は愛である」とは、神は愛そのものであり、神は愛の働きであり、愛である神とは三位一体の神であるということである。

三位一体とは、「父なる神」と「子なる神」と「聖霊」の三つのペルソナはそれぞれが神であるが、一つの実体であるということである。これは、ユダヤ教の唯一神信仰と「イエスは神である」とのキリスト教信仰の二者両立の要請から、信仰を理解するために神学者の議論から生み出された教義である。

聖書には三位一体の語そのものはないが、内容的にはその考えの萌芽を見ることが出来る。イエスは自らを「子」と呼び、神を「父」と呼んでいる。イエスという一人の人間において神が人となり、人間の悲惨さを自らの肩に背負った。イエスは自分を「父なる神」から遣わされた者と意識し、その意思の実現を使命と自覚した。完全なる従順のうちに「父なる神」と完全に一致しているということが

イエスの「父なる神」との関係である。

失楽園における原罪の本質とは、蛇の誘惑の言葉にある：「それを食べると神のように善悪を知る者となる（創世記3・5）。原罪とは、神への不従順により、善悪の決定についての支配権を人間が手に入れて、思い上がり高ぶって（ヒュブリス）自

らが神となること。イエスは人祖の傲慢と不従順を贖うために、へりくだりと従順によつて「父なる神」の意思に完全に聞き従った。

「私は道であり、真理であり、いのちである。私を通らなければ誰も父のもとへ行くことはできない（ヨハネ14・6）。謙遜と聴従により、イエスは自らを無にして、父なる神に対して透明になることによつて、神の顕現となり、真理であり、いのちである「父なる神」へと至る道になった。

父なる神とイエスは愛により一致している、両者を結ぶ愛が聖霊



である。神は愛であり、霊である。愛は愛する者と愛される者に分かれ、この両者は愛である聖霊によつて分かち難く結ばれる。

新約聖書の使徒言行録2・14によれば、イエスの復活から50日目に聖霊が降臨した。聖霊が降ることにより、三位一体の愛の内的交流は私たちに向けて開かれ、

私たちはその愛の内的交流に組み込まれ、三位一体の神の中に包み込まれる。このような愛のダイナミックな働き、三位一体の愛の爆発、それが「神は愛である」ということである。

人となられた神・イエスの人間性を通じて、私たちは三位一体の愛の内的交流に参加する。この参加は、理屈でも、物理的なものでもなく、祈りを通して行われる。

【心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。】これが最も重要な第一の掟である。第二もこれと同じように重要である。【隣人を自分のように愛しなさい。】

律法全体と預言者はこの二つに基づいている。（マタイ22・37-40）。「神を愛し」「人を愛する」ということは二つのことではない。人を愛することなしに神を愛することはなく、逆もまた然りである。神を愛することなしに人を愛することは、独り善がりの自己中心的な愛に陥る。

真の愛は相手を自分のものにしたいと望む愛ではなく、愛する者のために自分を捨てる愛である。「エロース」とは「欲望に従う愛、価値あるものを得たいと願う愛」である。

一方、「アガペー」とは無私的な愛であり、「神は私たちが罪びとであった時、愛される価値のない私たちを愛して下さった。」と言われる神の愛である。』

ゲーテのファウストでメフィストフェレスが「完全に矛盾したことは賢者にも愚者にも同様に神秘的だ」と嘲った様に、「三が一、一が三である」というような論理的に矛盾すると考えられ、かつ難解である三位一体というキリスト教の根本的教理を、ご講演を拝聴して、おぼろげながら理解することができました。里野先生、お忙しいところありがとうございました。

連載 私の新人時代 ②

「海上寮時代を振り返って」

聖家族園 園長 中曾根才智

私は、平成3年3月に海上寮療養所に入職しました。

当時は、海上寮と聖母療育園があるだけで聖マリア園の開所を4月に迎える年で、ロザリオの聖母会が発展する時代に入職しました。

海上寮は自然が豊かで、渡り廊下には、たくさんさんのトカゲが毎朝、迎えてくれたり、青大将がたまに事務所に迷い込んで来た時もありました。



施設整備が未熟で、エアコンは薬局以外はなく、病棟・給食・事務所は夏の暑さには大変な思いをし、特に夏の事務所は書類が飛んでしまうため、扇風機もかける事もできず、大変でした。

冬の寒さには、ボイラーでお湯を循環させて暖を取る方法で、温まるのに時間がかかり、しかもよく故障し、特に病棟のボイラーは調子が悪く、タイマーが故障した

時など朝の5時に来て点火していました。

当時、私の仕事は、庶務・経理・受付・外来・入院患者の対応・小遣い金など何でも行い、事務職員は全員そろぼんで

計算し、私もそろぼんを使っています。事務所は診療以外すべての事を行うよう心掛けました。

1年後の平成4年に事務長を拝命しましたが、病院の経営は厳しい状況で、問題は看護婦不足、基準看護

の最低ラインの看護婦しか確保できず診療報酬が低い状況でしたので、看護婦を確保するために県内あらゆる所へ求人に行きました。

当時はまだ旭准看護学校があったので、近隣の高校を訪問し、准看護婦になる高校生の確保を行

い、何年か続けていくうちに准看護婦は充たできましたが、正看護婦の確保は難しかったです。たまにたま正看が面接にきて決まりそうになると他施設に配属され、悔しい思いをしました。

当時の海上寮には、若い職員が多く活気があり、また家族的で温かい職場でした。とにかく病棟・事務・給食と困った時は皆で助け合い、事務長として心強く助かりました。

写真の1枚は、平成3年頃に創立した野球部の写真です。その年は1勝もできず17連敗し、翌年の秋、勝てそうなチームを探して、やっと勝った思い出があります。



法人は当時、独立しておらず海上寮の事務所の奥に8畳位の部屋が法人本部でした。

おのずと法人本部の仕事もお手伝いしました。聖家族園設立のお手伝いさせていただき、「林家こん平チャリテイ落語」は今では楽

しい思い出となっております。

法人本部が独立しても、福祉バザー、じゃがいも販売、長嶋茂雄旗争奪野球大会、林家こん平杯卓球大会、職員対抗バレーボール大会、納涼祭、忘年会等々いろいろ催し物をお手伝いさせていただきました。

小原清成前理事長には職員を大切にすること、和田前理事長には家族愛を、細瀬前理事長には仕事全般と障害者に対する思いを、佐々木前院長には会議の重要性や職員の育て方等たくさん教えていただきました。

経営的に大変な時期でしたが、多くの職員の励ましや協力もいただき、常に前を向いて進む事ができました。

後に、佐原聖家族園・聖家族園に異動し施設の運営をなんとか行っているのは、海上寮の時代があったからです。ありがとうございました。

最後に、もう1枚の写真は平成3年の職員旅行時の写真です。

折戸ハウスⅠ・Ⅱを開設して

ナザレの家あさひ 所長 荒井隆一

平成26年5月1日より、折戸ハウスⅠ・Ⅱを開設しました。この2つのグループホームは定員各5名で、ワンルームのアパートの空き家を複数借りて運営しています(一部3DKあり)。



これまでの一軒家を使用していた運営では、対人コミュニケーションの難しさにより、利用者同士の些細な出来事や病状の変化によって、生活や精神面が崩れやすい利用者がありました。ワンルームタイプになったことで、自分の生活を第一に暮らすことができるので、一軒屋タイプや複数名で住むアパートタイプでは崩れやすかった

利用者も、大きなトラブルが少なく生活ができています。また、グループホームからステップアップして単身生活を目指す人にとっても、将来を考えやすい生活環境になっています。



これまで、電気代を気にせず使っていた人も、エアコンや照明をこまめに切るようになっていきます。個人で使う光熱水費がわかりやすくなったので、意識が変わってきているようです。掃除も当番制から自分でやる機会が増え、部屋を綺麗に使っていく意識をする利用者が増えています。

「ちば醤油工場跡地でクリスマスフェアを開催！」

高齢者支援センター 所長 井上創

昨年12月24日と25日の2日間にわたり、あさひ市街中心部(ちば醤油工場跡地)において、地域の方々とともに集まり楽しもうと「クリスマスフェア」を開催しました。



両日とも、地域関係機関による模擬店の出店やイベントの開催、協賛品の提供などさまざまなカタチでイベントを盛り上げていただきました。そしてたくさん地域住民のみなさまにお集まりいただくことができました。関係者の皆様、そしてご来場いただきました地域の皆様、誠にありがとうございました。

ちば醤油旭工場は、古くより醤油や漬物などを製造、販売する企

業として地元旭市の住民の食卓を支えてきた歴史ある工場でした。しかしながら香取市内の本社工場にその機能は移転され、現在、旭工場は閉鎖されています。



当法人としましては現在、この跡地を利用して、あさひの地域福祉、まちづくりを検討する「リノベーションプロジェクト」を進めています。あさひの特徴を生かしながら、子供さんから高齢者までが互いに楽しみ、交流できる場づくりを目指しています。人と人、人と社会がつながる、そんな住みやすい街づくりのお手伝いをしたいと考えています。

◆◆ご寄付に感謝◆◆

2014年 聖母療育園クリスマス会

聖母療育園

12月20日に行われたクリスマス会に昨年に続き「イオン旭店」より2名の社員の方にボランティアとして参加頂き、利用者一人ひとりに「クリスマスプレゼント」も頂きました。

女性の利用者には「あたたかなインナー」を、男性の利用者には



「靴下とハンドタオル」、女の子には「靴下セット」、男の子には「インナーシャツ」のプレゼントです。

身も心も温まりこの冬の寒さも快適に過ごすことができそうです。「イオン旭店」様、ありがとうございました。

フリーウィー社会貢献クラブ

フリーウィー様からの支援を受けて

聖ヨセフつどいの家

このたび当施設では、株式会社リコー社会貢献クラブ FreeWi二様からの支援を受けて、災害用トイレならびに災害用テントを各4台ずつ整備させていただきました。

当施設がある高萩福祉センターは、防災拠点スペースとして昨年7月にオープンしました。本センターは地域住民の方の避難所として、さらには支援を必要としている方々の福祉避難所として香取市



と協定を結んでおります。防災拠点スペースとして整備すべき備品や設備は多岐にわたり、計画的に準備を進める必要があります。中でもプライバシーの確保とトイレの整備は非常に重要度が高く、今回のご支援により整備を進められたことは、センターのみならず香取市内の支援を必要とする方々にとって大きな力となることは間違いないと思います。

今回のご支援を契機に、さらに防災拠点スペースとしての機能を充実させ、地域の皆様のお役にたてるよう、さらなる整備を計画していきたいと思っております。

共同募金会寄付

第25回ロザリオ福祉まつり事務局

第25回ロザリオ福祉まつりの目的の一つに挙げていた共同募金寄付について、当日会場に設置した募金箱にお寄せ下さった善意に加えて、法人、施設・事業所のバザー収益から拠出した資金を合わせた20万円を平成26年11月18日、共同募金会旭市会に直接お渡ししました。一昨年度から引き続き、これで3回目となります。

ロザリオの聖母会の施設・事業所には共同募金会から毎年たくさんのお金を頂戴し、車両や設備の充実に活用させて頂いております。社会から我々に寄せられた善意に、少しではありますが応えたいという思いからこのような形を取らせて頂きました。

この提案を快くご理解下さった後援会やロザリオ福祉まつり実行委員会、関係の皆様にご報告と御礼を申し上げます。





平成26年度 第23回 ボランティア感謝式

ご協力ありがとうございました。

ボランティア感謝式受賞者

平成26年度ボランティア感謝式の受賞者に、賞状と、ささやかな記念品をおくらせていただきました。受賞者は次の方々です。

- ◆ 中浦晃代 様
- ◆ 菅谷健治 様
- ◆ 琴礼会 様
- ◆ 旭市立第二中学校
ボランティア部 様

社会福祉事業功労者に
対する知事表彰

横田 信一郎

千葉県社会福祉協議会
会長表彰

- 神崎 満
- 石毛 八千代
- 向後 洋子
- 小出 薫
- 加瀬 栄子
- 和田 直文
- 常世田 美智子
- 三浦 智明
- 花牟禮 香一
- 鈴木 佐代子
- 宮内 育子

日本精神科看護協会
千葉県支部優良会員表彰

菅谷 一恵
安西 八恵子

千葉県社会福祉事業共助会
長期在籍会員顕彰

- 高安 きみ江
- 鈴木 周子
- 白井 正和
- 加瀬 敏雄
- 平野 逸子
- 林 裕美子
- 高木 美枝子
- 山中 悦子
- 田中美奈子

ロザリオの聖母会平成26年度永年勤続表彰

【勤続30年】

- 飯島 善美
- 実川 米子

【勤続10年】

- 大明 真奈美
- 作佐部 香織
- 小森 正道
- 穴沢 典子
- 溝口 京子
- 安西 八恵子
- 名雪 利美

【勤続20年】

- 加瀬 栄子
- 佐藤 弘子
- 林 裕美子
- 加瀬 弘子
- 高橋 雅明
- 小原 文雄
- 向後 洋子
- 常世田 美智子
- 花牟禮 香一
- 三浦 智明



第25回ロザリオ福祉まつり 寄付者御芳名

(株)ダイユー恒産 代表取締役 加瀬克久様
にじと風 吉野真里子様
旭市社会福祉協議会 会長 塙政美様
米本 弥栄子様
下根 屋様
小嶋 昭三様
旭市長 明智忠直様
インテリア謙光 加瀬謙一様
香取 市様
服部 紘一様
阿部建設株式会社 社長 阿部典義様
大利根旭出福祉園様
日成シート 実川昭男様
香取の地域福祉を考える会 理事長 中塚博勝様
旭市立第一中学校様
みんなの家父母会 会長 嶋田みつ枝様
土屋保険サービス様
森永牛乳 新喜販売所 石橋競様
小林 正幸様
保科 礼子様
大正琴 琴礼会様
田中 瑞雄様
森 正志様
八日市場瓦斯(株)様
芳賀 秀美様
淑徳大学 With 嘉山さゆり様
山口 朝子様

(有)高野燃料店 代表 高野秀之様
田中 長子様
町田 治子様
鈴木 洋志様
河合 晴子様
山蔭 敏廣様
山蔭 和子様
河合 晴子様
栗原 優美様
櫻井 ふく様
町田 治子様
木村 やす子様
大山 廣子様
西尾 優子様
大山 清子様
菅原 智子様
堀川 洋子様
中島 元子様
久米 倫男様
中村 萬紀子様
西尾 世津様
山中 知恵子様
小嶋 八重子様
山下 知子様
佐野 淑子様
山中 知恵子様
宮崎 輝子様
竹内 進様
日本カーソリューションズ(株)様
(株)スズキ自販千葉南口様
鈴木 あけみ様
林 静子様
佐多 範洋様

平野 洋子様
中村 利江様
嶋田 美香様
伊藤 美智子様
関家 亜弥子様
磯 美重子様
岩淵薬品旭営業所様
宮崎 一枝様
(株)宮内グリーンシステム様
(株)メグロセオ八日市場店様
花沢 商店様
間中 優子様
五十嵐 利行様
浪川 君江様
猪俣 里美様
渡辺 茂男様
高橋 靖子様
大根 弘子様
藤原 直紀様
齋藤 テルエ様
田中 泰行様
石毛 京子様
常世田 多恵子様
大塚 美恵様
大関 喜市様
林 とめ子様
越石 裕美様
工藤 玲子様
村田 幸子様
内山 春水様
滑川 敬雄様
伊藤 和子様
石橋 春子様
石上 繁様

小林 博子様
久保田 律子様
角田 満枝子様
鶴澤 律子様
堀越 重子様
仲村 和子様
相澤 弘一様
斉藤 洋一様
越川 真弓様
鎌形 久美様
尾形 佳美様
田中 弘二様
兵頭 恵子様
聖家族園家族会様
千本松 博志様
江波戸 勲様
社会福祉法人やまだ福祉文庫 知障害通訳生護 自然様
聖家族作業所家族会 二同様
神津 剛夫様
向後 綾子様
新川 美男様
高木 邦男様
林 祥子様
鎌形 京子様
ビューティー・か道様
椎名 キヨ子様
石毛 幸子様
渡辺 文子様
佐藤 敏雄様
大八木 久予様
佐藤 和久様
渡辺 敏子様
佐藤 しめ子様
渡辺 敏子様
佐藤 良子様
永岡 さつき様
宮内 治子様
小池 京子様
太田 義人様
菅谷 昌代様

山田 義隆様
山川 裕志様
西川 利文様
菅浦 真知子様
黒田 明美様
菅谷 千恵子様
加藤 伸雄様
内野 康秀様
日下部 栄一様
玉造 和男様
平山 義蔵様
新行内 良治様
長嶋 義夫様
岡本 正明様
岡田 栄二様
吉田 政男様
津田 直也様
柴田 ミサ子様
片岡 はつえ様
前田 忠勝様
伊藤 勝治様
森 正美様

寄付者御芳名 (平成26年10月8日~12月27日)

山田 義隆様
副島 隆様
川口 和昭様
有吉 玉青様
田辺 弘子様
小宮 和彦様
寺本 修子様
高田 江里様
島山 アイ子様
宇井 千代子様
中嶋 和子様
黒崎 弘康様
中曾根 保子様
芳賀 信雄様
大野 賢一様
加瀬 政衛様
札幌聖心修道院 井出美美子様
大久保 二郎様
旭遊技場組合様
(株)国際エアールジー 代表取締役社長 大山吉男様
聖心女子学院生徒一同様
土屋 和夫様
(株)ドーシス様

山野 よし
舟戸 栄一様
江川 裕子様
矢野 正子様
諏訪 正義様
青柳 義見様
佐藤 教子様
高塚 みどり様
大原 英太郎様
宮崎 知己様
阪野 千恵子様
高橋 里美様
芦田 裕光様
林 由理様
島田 尚美様
中沢 豊子様
森下 さおり様
宮沢 さおり様
加瀬 節均様
伊藤 美加様
佐久間 登代子様

ロザリオ発達支援センター



臨床心理士

中村 大吉
12月より勤務しております
中村大吉です。大吉と書いて
ひろよしと読みます。
学生のころは野球少年でした。
フットワークの軽さを活かして
地域を走り回りたいと思います。

聖母療育園



看護師

清水 千弘
将来、正看護師を取る為北
海道から転居してきました。
前向きで真面目な方です。
よろしくお願ひします。



事務員

仲村 由加
接遇マナー研修では「対応
がはつきりして、解りやすい
です」と褒められました。
よろしくお願ひ致します。



事務員

中村 利江
初対面の方でも、気軽に声
をかける出来る経験豊かな、気
さくな方です。
よろしくお願ひ致します。

海上寮療養所



事務員

嶋田 美香
窓口対応では内心ドキドキ
なんでしょうが、落ち着いて
対応の出来る頑張り屋さんで
す。
よろしくお願ひ致します。

新任者紹介

Photo Gallery

★デイサービスセンター・ローザ★



ぶちクリスマス会の後は、
お正月飾りを作り
「ゆく年くる年」です。



「お正月飾り
できました。。。
100歳
ハンザ〜イ!!!」

もスサ
らレン
ヨゼタ
たンさん
よト♪



佐原の素敵な2人組

クリスマス会

★佐原聖家族園★



クリスマス会
楽しかったよ!!

聖ヨセフつどいの家



支援員

秋葉 陽介
11月より勤務されています。
頼りになり、笑うと何とも言
えない素敵な表情をする方
です。今後もその笑顔で人気者
になってください。

聖マリア園



支援員

鈴木 優子
趣味は音楽鑑賞で笑顔が素
敵な鈴木優子さん。
今後の活躍に期待します。

★聖マリア園★



クリスマス会早く
始まらないかな

クリスマス会楽しみ!!



クリスマス会
楽しんでます。





★ナザレの家かとり★

地域の方と一緒
クリスマス会!

★メリー
クリスマス★




★聖ヨセフつどいの家★

みんなで「ちんぽ」
踊りました

美味しいご飯
まだかな～




★みんなの家★

今年はず
とびきりの笑顔!!

移行班 妖怪ウォッチ 所長賞受賞!!



★聖家族作業所★



文化祭
始めます♪

忘年会
皆楽しんでます♪

★聖母療育園★

親子で
クリスマス会を
満喫♪



サンタさん
来るかな!



★聖家族園★

クリスマス
美味しいね!!



★クリスマス会★

みんなの夜を
皆で演奏したよ!!

